

ホタルの会

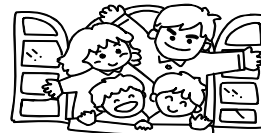


サンビオ子ども公民館

アーベインマンションには中庭にビオトープがあります。この中庭には木々が茂り、その中に小さな川のせせらぎがあるので。そこで、この小川を日の出地区の中学生とおやじの会のメンバーできれいに掃除をして、ホタルに詳しい専門家の方に見てもらったそうです。「何年かかければ、ホタルが生息できるよ」というお墨付きをいただき、今年はホタルのえさになる「カワビナ」を生息させました。今年は幼虫からホタルをかえすのは無理でしたが、山口県から150匹ものホタルを分けていただき、6月10日(土)にこのビオトープで地域のみなさんに観ていただくことになりました。マンション群の中庭に大人も子どもも合わせて300人ぐらいの人が集まりました。子ども達はお尻を光らせるホタルを全員が手にひらにのせることができ、とても感動した様子でした。「アーベイン」には生きものが住む場所」という意味があるそうです。来年はここでホタルが育ってほしいですね。そして、自然を感じ、自然を大切に作る心が子どもたちに芽生えていくと嬉しいです。

◆ * 『らいん』は、体験活動ボランティア活動支援センターのホームページ⇒
<http://www.u-zak.net/kasuga/seishonen> に載せています。自由に書き込める掲示板もありますので、
ご意見、ご感想など、どしどしお寄せください！ ◆

春日小学校区 地域子ども教室



春日小学校

7月8日(土) 春日小学校「子ども教室」のフラワーアレンジメントを取材させていただきました。作法室で子どもも親も自分の感性でそれぞれ趣のある作品が出来上がっていました。子どもたちの中には1年生のときから5年間も続けている子が2人いました。なかなかの腕前でしたよ。



昇町子ども会

6月24日に昇町子ども会のリーダー会議を見学させていただきました。昇町子ども会は会員数159人ということで、班分けがされていて、会長・副会長・書記と班のリーダー達で活発な話し合いがされていました。この日は1年間の子ども会としての目標決めと夏祭りの「ちびっ子タイム」のビンゴゲームの役割決めが行われました。親はたまにアドバイスする程度で、自分達で決めていくのが自然になっているところがいいなと感じました。



弥生子ども会

祭りを前にして、弥生子ども会恒例の「太鼓の練習」が始まっています。太鼓の数の都合で、参加は16名にしぼられていました。それでも太鼓が足りないなので、いすにタイヤをくりつけて、太鼓に見立てて叩くこともあります。指導者は山田隆義さんで、山田さんの声にみんなしっかりと耳を傾けて頑張っていました。また、初めてでうまくリズムがとれてない子には経験者や学校帰りの中学生が教えており、良い縦の関係ができていますねあと思いました。



小倉子ども会

小倉子ども会では毎月子どもたちが参加しての「廃品回収」を行っています。7月は8日に行われましたが、5箇所の集積場所のうち、住吉神社前に8時半から行ってみました。子どもたちは自分の家から新聞等を運んできた後、地域の大人の方がたくさん持ってこられた廃品に走り寄って加勢をします。ダンプを待つ間、子どもたちが神社の境内で集団で遊ぶ姿も見ていて「いいなあ」と感じました。



春日中学校



地域子ども教室 吹奏楽部

土曜日の午前中、中学校の校舎内で様々な楽器の音が聴こえてきます。教室の中を覗くと、楽器ごとに教室を分けて練習していました。

春日中の吹奏楽部には、春日市市民吹奏楽団のみなさんが指導に来られるそうです。

今は市民吹奏楽団も演奏会前で忙しいらしく、一段落ついたらパートごとの指導に来てくださるということでした。

今後、この吹奏楽団による講習会以外にも、運動での居場所づくりや、パソコン教室が予定されています

きらい春日の人

やまだ
山田

たかよし
隆義さん

弥生子ども会で、毎年恒例となっている夏祭り前の太鼓の練習を指導されているのが山田隆義さんです。まだ自衛隊員だった頃から関わり、定年後は先頭にたって指導され、もう、16年も続けているそうです。

「次は、このリズムでいくぞー。」と手本を示すと、子ども達はそろえて打とうと一生懸命です。小学校を卒業した中学生が学校帰りに練習を手伝いに来るのも、山田さんの人望の表われでしょうね。





追加募集をいたします！

「子どもたちが自分たちで企画し、実行する活動」に事業費として最高25,000円を支援します。

1 補助対象条件

- 春日市内の小・中学生5人以上で実行委員が構成されている。
- 計画から実施まで、子どもたちが中心となって行う活動である。
- 放課後や土・日に取り組みされる様々な文化・スポーツ・奉仕活動である。
- 活動の中に地域の方々とのふれあいがある。
- 活動場所が、地区公民館、学校、ふれあい文化センター、公園などの公共施設である。
- 子どもたちの自主性を損なわない範囲で支援する大人が2人以上いる。

2 申請について

提出書類 補助金等交付申請書・「子ども公民館」イベント計画書（社会教育課にあります）
申込期限 平成18年11月17日（金）

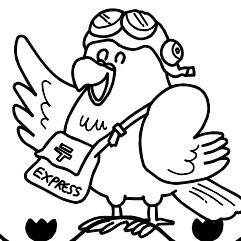
3 活動期間 平成19年3月末

4 募集団体数 4団体程度

5 提出・問い合わせ先 TEL 575-4121 FAX 593-7380



平成18年度「家庭の日」 親子ふれあい事業



～ 野外炊飯&ペットボトルロケット作り ～

親子で自然の空気を吸いながら、料理と工作に挑戦しましょう！！

日時：平成18年9月10日（日）10:00～16:00（受付9:30）

場所：太宰府市観世キャンプ場 現地集合・解散

対象：小・中学生とその保護者

定員：15組

参加費：一人500円・ペットボトルロケット材料費1組2,000円程度

受付方法：電話・FAX・E-mail (syakai@city.kasuga.fukuoka.jp)

募集期間：平成18年8月15日～8月31日

<申込・お問い合わせ> 春日市社会教育課 : 575-4121 FAX : 593-7380